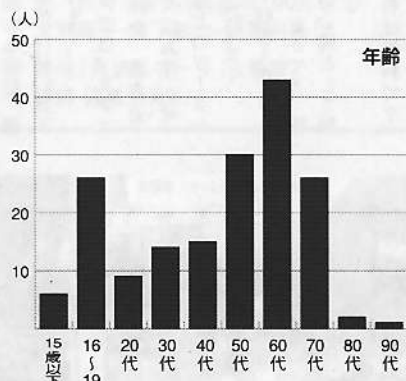
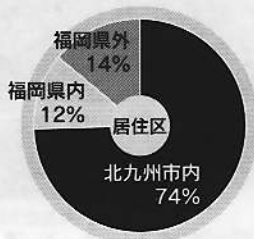
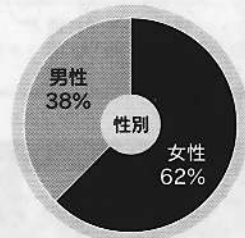


アンケート調査

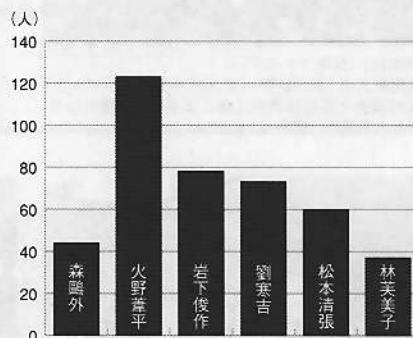
北九州市立文学館では、開館より来館者の方を対象にアンケート調査を実施致しました。来館者の声として、今後の館の運営の参考にさせて頂きたいと思ます。(回答者数188人)

【来館者について】



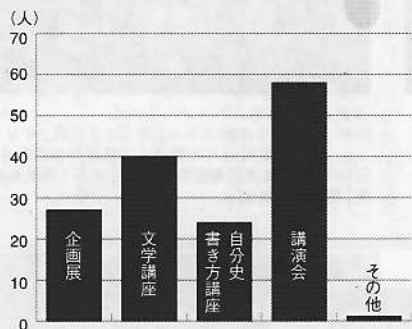
来館者は、男性よりも女性のほうが多く、年齢は50代、60代、70代の層が中心となっている。学生の団体見学もあるため、16~19歳の層も多くなっている。居住地は、市内在住者が4分の3を占めている。

【印象に残った作家について】(複数回答)



開館記念特別企画展として取り上げた、「火野葦平」「岩下俊作」「劉寒吉」の三人が最も印象に残っている。また、全国的に名の知られる「森鷗外」「松本清張」「林芙美子」なども注目を集めた。

【今後取り上げて欲しい企画】(複数回答)



希望するテーマ

企画展テーマ

- ・北九州のサブカルチャー
- ・女性俳句
- ・林芙美子
- ・郷土の作家
- ・杉田久女
- ・児童文学
- ・同人誌
- ・森鷗外
- ・漫画家(松本零士など)

文学講座

- ・森鷗外
- ・杉田久女
- ・火野葦平
- ・佐木隆三
- ・俳句

講演会

- ・リリー・フランキー
- ・古川薫
- ・佐木隆三
- ・五木寛之
- ・遺族の思い出話
- ・浅田次郎
- ・児童図書
- ・よしもとばなな

講座、講演に希望が集まった。「森鷗外」など文学史に名を刻んだ作家の文学講座や現在活躍中の作家の生の声を聞きたいとの要望もある。また、漫画など新しい分野での企画を望む声も見られた。

【感想、意見など】

- ・ 企画展がやはり印象的でした。直筆の原稿と言うのがこれほどまでに訴えかける力があることにも驚きました。双方が送った手紙からその関係、友情に思いを馳せることもでき、実際に読んでみたいと思うようになりました。(20代 女性)
- ・ 一人の作家を細かく取り上げてもらいたい。映像による紹介が少ない。専門家だけが来館するわけではないと思うし、また子どもを対象とした紹介の仕方工夫してほしい。将来を担う人材の育成にもつながると思われる。(60代 男性)
- ・ かたくるしいだけでない、楽しい企画で(切り口も含め)文学ファンをふやして下さい。期待しています。(40代 男性)
- ・ 遠藤周作や曾野綾子など九州人以外の作家のことも少

- し紹介してほしい。火野、岩下、劉らの作品は中央図書館でも冊数が殆どなく借りにくい。増やしてくれるよう交渉してほしい。(60代 女性)
- ・ 漫画家(北九州出身)の作品も子どもだけでなく親も楽しんでまた来てみたいと思うのではないのでしょうか。(40代 女性)
- ・ 今後はボランティアでの解説者など地道に育成して、子どもたちにもわかるような展示を考えてほしい。(60代 男性)
- ・ 北九州の多くの人が文学について熱心に取り組んでいることがわかり、何か大きなものに打たれたような気持ちになりました。あと、こんなにも有名な作家をあまり知らないことがわかり、もっと多くの本を読みたいと思いました。(10代 女性)